

鬼平犯科帳

を

西尾忠久

助太刀 いたす

1○啞の十蔵○本所・桜屋敷○血頭の丹兵衛○
既河岸○老盜の夢○暗剣白梅香○座頭と猿○
2○蛇の眼○谷中・いろは茶屋○女掏摸お富○妖姿葵小僧
○密偵○お雪の乳房○埋藏金千両 3○麻布ねずみ坂○盗
法秘伝○艶婦の毒○兇剣○駿・宇津川○
4○霧の七郎○五年目の客○密偵○血闘○おばか○新助○
おみね徳次郎○敵○夜鷹殺し○深川○鳥越○
主○女賊○おしゃべり源八○兇賊○山吹屋お鶴○
○礼金二百両○猫じゃらしの女○
○盗賊人相書○のっそり医者○
金七百両○はさみ撃ち○搔掘のおい○
寒月六間堀○盗賊婚礼 8○用棒○あきたたけ○明神
次郎吉○流星○白と黒○あきらめ○
郎○鯉肝のお里○泥亀○本門寺暮雪○浅草○鳥越○
白粉○狐雨 10○犬神の権三○蛙の足○
主○むかしなじみ○消えた男○お熊○平 11○男色一本
鑑飴○土蜘蛛の金五郎○穴○泣き男○屋○密告○毒○雨
隠れの鶴吉 12○いろおとこ○高杉○湯・三羽烏○見張りの
見張り○密偵たちの宴○二つの顔○白蜚○二人女房
13○熱海みやげの宝物○殺しの波紋○夜針の音松○墨つ
ぼの孫八○春雪○一本眉 14○あごひげ三十両○尻毛の
長右衛門○殿さま栄五郎○浮世の顔○五月闇○さむらい松
五郎 15○赤い空○剣客医者○闇○流れ星○急変の日○
落ち鱸○秋天清々 16○影法師○網虫のお吉○白根の万
左衛門○火つけ船頭○見張りの糸○霜夜 17○権兵衛酒
屋○危急の夜○旧友○闇討ち○丹波守下屋敷○見張りの
日々○汚れ道 18○俄か雨○馴馬の三蔵○蛇母○一寸の
虫○おれの弟○草雲雀 19○霧の朝○妙義の團右衛門○
おかね新五郎○逃げた妻○雪の果て○引き込み女 20○
おしま金三郎○二度ある事は○顔○怨恨○高萩の捨五郎○
助太刀○寺尾の治兵衛 21○泣き男○瓶割り小僧○麻布
一本松○討ち入り市兵衛○春の淡雪○男の隠れ家 22○
豆甚にいた女○夜鴉○逢魔が時○人相書二枚○法妙寺の
九十郎○梅雨の毒○座頭・徳の市○托鉢坊主○麻布・暗
闇坂○高潮○引鶴 23○隠し子○夜鴉の声○囃○荒神の
お夏○おまさとお園○盗みの季節○押し込みの夜 24○女
密偵女賊○ふたり五郎蔵○相川の虎次郎○お熊の茶店○浪
人・神谷勝平



助太刀
いたす

を



「鬼平犯科帳」を助太刀いたす

一九九六年十月五日 初版第一刷発行

著者……西尾忠久

©Tadahisa Nishio, Printed in Japan, 1996



発行者……栗原幹夫

発行所……KKベストセラーズ

東京都新宿区西新宿七一二七 一六〇

電話〇三三三六四九二一 振替〇〇一八〇六〇〇〇八三

印刷所……錦明印刷 製本所……積信堂 電植製版……三協美術

ISBN4-584-1931-X

定価はカバーに表示してあります。乱丁・差し本がございましたらお取り替えいたします。本書の内容の一部あるいは全部を無断で複製・転写（コピー）することは、法律で認められた場合を除き、著作権および出版権の侵害になりますので、その場合はあらかじめ小社あてに許諾を求めて下さい。

西尾忠久 へにしお ただひさ

関西大学経済学部卒。三洋電気、アド・エン
ジニアーズなどでコピーライター。多摩美術
大学講師。NHK文化センター（東京・青山）
の「鬼平犯科帳」講座講師。英国王室御用達
の制度・現状を現地取材中。海外ミステリー
から森羅万象を抽出したデータベース制作に
も熱中。著書に『フォルクスワーゲンの広告
キャンペーン』『江戸老舗さんぽ』『世界名店
さんぽ』『ワープロ書斎術』『ミステリー風味
ロンドン案内1・2』『ベルギー風メグレ警視
の料理』など多数。本書関連では、『鬼平犯科
帳の世界』（文春文庫）に「江戸買物案内」、
『鬼平犯科帳』お愉しみ読本（同）に「鬼平
流ダンディズム・名場面」を執筆。

はじめに、謎がありました●まえがき

NHK文化センター（東京・青山）で「池波正太郎と『鬼平犯科帳』の世界」のクラスをもつことになったとき、参加してくる人たちには、ぼく以上の『鬼平犯科帳』愛読者、ぼくよりも古くから鬼平ファンになっている人もいるにきまっていますからね、講ずるとしたら、その人たちが目にしたこともないデータを提供しなければならないな、とびくびくものでした。

いっぽう、ぼくはぼくで、『鬼平犯科帳』について、いくつもの疑問をかかえています。長谷川平蔵^{のぶため}宣^{かぶらた}以の火盜改メとしての任期のこと、その助役^{すけやく}中のこと、宣雄^{のぶお}のこと、おまさのこと、佐嶋忠介与力のこと……。

で、まず、火盜改メに任命された延べ二百人近い旗本のリストをつくり、その人たちの家譜を『寛政^{かんぜい}重修^{しゅうしゅう}諸家譜^{しよかふ}』からコピーしてみることはじめました。家譜を子細に読むことで、どういう家柄の武士が選ばれるのか、平蔵^{のぶため}宣^{かぶらた}以はそのなかではどんな位置づけ

になるのか、などが考察できる、とおもったのです。

クラスの男性たちに一巻ずつ割りあて、公共図書館で『諸家譜』から火盜改メを拜命した人の記録を探しだしてきてほしい、とたのみました。しんどい宿題だったろうとおもいますが、みんな、よくやってくれました。

ぼくは『徳川実紀』をあたつてその裏をとりました。両者のコピー量は厚さにして十センチを越えるほどになりました。

平蔵宣以のぶなみの火盜改メ長官おかしらとしての任期の七年はきわめて異例の長期だったこともそれわかりました。なぜそうだったのか。

池波正太郎さんは、妻女・久栄ひさえへの愚痴ぐちのかたちで、

「他のだれがやっても、自慢ではないがおれほどにできまい。なればこそやめられぬ。これはな、久栄。なにも悪党どもを征伐して諸人の難儀をふせぐ、などという偉そうな氣持からではないのだ。つまりは、その……」

「この御役目がお好きなので……」

「いや、そうではない。好きではないが、やめられぬという……理屈ではわからぬことだ。つまりはその、盜賊相手にはたらく御役目へ、おれはどつぶ足をとられてしま

っている。いまのおれとくらべて見て、以前に、いろいろとつとめた他の御役目なぞの味気なさをおもい出すと、ぞつとしてしまうのだ」

(⑥—1 礼金二百両) P9)

鬼平の生き甲斐となっていたため、と解釈しています。それも一面の真実だったでしょう。小説としてはそれでいいわけです。

しかし、先手組頭の一、二年の加役、つまりは義理職なみのあつかいをされてきていたのを、平蔵宣以が幕府の定役のようにしてしまうことへの反論はなかったのか、世情が平蔵宣以を必要としていたのか、幕府の上層部のかんがえは、といった面からも光をあてなければいけないとおもいました。

パソコンをつかったデータ処理もしましたが、成人教室なので、硬いっぽうの話ではどうしようありません。前半は興味優先、後半はちよっぱり硬めにしました。さいわいにも、クラスの熱気は上々、月二回の集まりにみんなたのしそうに顔を見せました。泥棒ごっこもやりました。が、クラスは、ぼくの要領の悪さもあつて当初予定の半年では終らず、一年間つづくことになってしまいました。

この本でもおなじようなことがおきました。あんなに魅力的な与力・同心たち、献身的な密偵団、したたかな盗人群、料理、襲われる商店側、町のたたずまい、『江戸買物独案

内『切絵図』に集約した事柄スポット、みんな積みのこしました。つぎの本へ申しおくるしかありません。

あなたも、クラスの人たちにまけずおとらずの鬼平熱愛者フアイールのはず。この本が提供するデータデータをクラスの人たちがおもしろがった以上に、おもしろがり、さらには『鬼平犯科帳』一六四話をくり返して一生たのしむすがとなさることをねがっています。

そして、巻末の盗人の「呼び名」さがしにも手を貸してください。

なお、引用の各話の上部の○内の番号は文庫本の巻数、下の数字は順番を表します。

一九九六年九月

にし
西尾忠久おただひき

「鬼平犯科帳」を助太刀いたす●目次

はじめに、謎がありました●まえがき……………1

『鬼平犯科帳』全作品リスト……………12

I章 誠意まことこころの女密偵・おまさ

おまさの登場率は、七割七厘?……………16

おまさの登場は、テレビ化がきっかけ……………19

おまさの「まさ」は、どんな漢字?……………22

おまさは、今日でいえば専門職女性……………25

母親としてのおまさと、おまさの母親……………30

おまさは、意気地のなかったことを後悔している？……………35

「おまさ以前」には、「美人」がいた……………39

「美人」という表現が、「おまさ以後」には消えた……………43

おまさに対する、妻女・久栄の思惑……………50

●おまさに関するデータ……………55

おまさがその下ではたらいたことのある盗賊の首領たち

おまさの住まいの変遷

おまさの誠意を堪能する編

多彩で魅力的な女賊たち編

II 章 長官夫人・久栄の余裕おかしら ゆとりの氣ばたらき

二男三女を産み、育てた久栄の年齢……………	66
妻女一人を守るのは、メグレ警視風……………	80
「久栄。お前はいい女だ」……………	85
久栄の実家、大橋家の実情……………	89
一人で何役もこなしきれぬころの余裕……………	96
夫・鬼平のいなし方、長男・辰蔵の叱りよう……………	106
夫の愚痴は聞くほど、親身になれる……………	115
久栄が耳にした与力・同心たちの人物評……………	124

●久栄と鬼平に関するデータ……………135

鬼平の役宅を彩る花木

久栄の好物

III 章 長谷川平蔵に学ぶ人間味の深め方

池波さんは長谷川平蔵をどこで見つけたか……………142

町奉行になりそこねた平蔵宣以……………147

昼夜巡廻は火盜改メの定められた仕事……………152

平蔵宣以の鋭い勘ばたらきと果断な決定……………155

二十三歳の平蔵宣以のお目見得は遅すぎっ……………159

本所・三ツ目通りへの移転の裏を読む……………163

長谷川一門の当主の三割二分三厘が「某女」生れ	168
宣義は、なぜ祖父・宣雄の火盗改メの記録を消したのか	174
名工・兵左衛門作の銀煙管は、ほんとうに亡父の遺品か	179
鬼平の慈悲心の根底には、神仏への信仰心がある	182
亡父の縁を大切にする鬼平の人情	189
泪は理屈を超えるもの	194
殿中秘薬・瓊玉膏の下賜も手遅れ	201
天明飢饉の暴動鎮圧部隊に任命された	209
剣の小野次郎右衛門忠喜と不運の安藤又兵衛正長	215
同時期、堀帯刀秀隆は本役、平蔵宣以は助役だった	218
前任者・堀帯刀秀隆はたいへんな時代をつとめた	223
白浪ものじゃなく、人間劇にひたっているんだ	226

七年のあいだに助役についたのは四人……………231

平蔵宣以の七年留任の理由は、けっきょくわからない……………239

●鬼平に関するデータ……………245

鬼平の寺社参拝リスト

鬼平の刀剣・武器

●巻末データⅠ「盗人用語」……………258

●巻末データⅡ「盗人の呼び名」……………275

装幀……………島田拓史

●『鬼平犯科帳』全作品リスト(二十四巻・文春文庫)

- ①「啞の十蔵」「本所・桜屋敷」「血頭の丹兵衛」「浅草・御厩河岸^{おうまがし}」「老盗の夢」「暗剣白梅香」「座頭と猿」「むかしの女」
- ②「蛇の眼」「谷中・いろは茶屋」「女掏摸^{めんげき}お富」「妖盗葵小僧」「密偵」「お雪の乳房」「埋藏金千両」
- ③「麻布ねずみ坂」「盗法秘伝」「艶婦の毒」「兇剣」「駿州・宇津谷峠^{うつのや}」「むかしの男」
- ④「霧の七郎」「五年目の客」「密通」「血闘」「あばたの新助」「おみね徳次郎」「敵^{かたき}」「夜鷹殺し」
- ⑤「深川・千鳥橋」「乞食坊主」「女賊」「おしゃべり源八」「兇賊」「山吹屋お勝」「鈍牛」
- ⑥「礼金二百両」「猫じゃらしの女」「剣客」「狐火」「大川の隠居」「盗賊人相書」「のっそり医者」
- ⑦「雨乞い庄右衛門」「隠居金七百両」「はさみ撃ち」「掘堀のおけい」「泥鰌^{どじょう}の和助始末」「寒月六間堀」「盗賊婚礼」

- ⑧ 「用心棒」「あきれた奴」「明神の次郎吉」「流星」「白と黒」「あきらめきれずに」
- ⑨ 「雨引の文五郎」「鯉肝のお里」「泥亀すつぽん」「本門寺暮雪」「浅草・鳥越橋」「白い粉」「狐雨」
- ⑩ 「犬神の権三」「蛙かむすの長助」「追跡」「五月雨きみだれ坊主」「むかしなじみ」「消えた男」「お熊と茂平」
- ⑪ 「男色なんしよく」「本鰐ほんうどん」「土蜘蛛つちぐもの金五郎」「穴」「泣き味噌屋」「密告」「毒」「雨隠れの鶴吉」
- ⑫ 「いろおとこ」「高杉道場・三羽鳥」「見張りの見張り」「密偵たちの宴」「二つの顔」「白螻」「二人女房」
- ⑬ 「熱海みやげの宝物」「殺しの波紋」「夜針の音松」「墨つばの孫八」「春雪」「一本眉」
- ⑭ 「あごひげ三十両」「尻毛の長右衛門」「殿さま栄五郎」「浮世の顔」「五月闇」「さむらい松五郎」
- ⑮ 特別長編「雲竜剣」(赤い空 剣客医者 闇 流れ星 急変の日 落ち鱸すずき 秋天清々)
- ⑯ 「影法師」「網虫のお吉」「白根の万左衛門」「火つけ船頭」「見張りの糸」「霜夜」

⑰ 特別長編 「鬼火」

権兵衛酒屋 危急の夜 旧友 闇討ち 丹波守下屋敷
見張りの日々 汚れ道

⑱ 「俄か雨」「馴馬の三蔵」「蛇母」「一寸の虫」「おれの弟」「草雲雀」

⑲ 「霧の朝」「妙義の團右衛門」「おかね新五郎」「逃げた妻」「雪の果て」

「引き込み女」

⑳ 「おしま金三郎」「二度ある事は」「顔」「怨恨」「高萩の捨五郎」「助太刀」

「寺尾の治兵衛」

㉑ 「泣き男」「瓶割り小僧」「麻布一本松」「討ち入り市兵衛」「春の淡雪」「男の隠れ家」

㉒ 特別長編 「迷路」
豆甚にいた女 夜鴉^{よからず} 逢魔が時 人相書二枚 法妙寺の九十郎
梅雨の毒 座頭・徳の市 托鉢坊主 麻布・暗闇坂 高潮 引鶴

㉓ 「隠し子」 特別長編 「炎の色」
夜鴉^{よからず}の声 囀^{おどり} 荒神のお夏 おまさとお園
盗みの季節 押し込みの夜

㉔ 「女密偵女賊」「ふたり五郎蔵」 特別長編 「誘拐」
相川の虎次郎 お熊の茶店
浪人・神谷勝平